

小平市まち・ひと・しごと創生総合戦略

(平成27年度～31年度)

平成28年度 進捗状況

【目指すまちづくりのイメージ】

市民がいきいきとした“プチ田舎”なまちづくり

平成29年9月

小 平 市

目次

1	小平市まち・ひと・しごと創生総合戦略 進捗状況一覧表	1
	基本目標1 「住み続けたいまちの空間をつくる」	1
	①農のあるまちづくりの推進	
	②ゆったりとした快適なまちづくりの推進	
	③ “住んでみたい” まちづくりと魅力の情報発信	
	基本目標2 「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」	4
	①結婚の希望をかなえる	
	②妊娠・出産期からの支援体制の充実	
	③子育て支援サービス・保育環境の充実	
	④子育てにおける多様な支援の充実	
	基本目標3 「地域力・民活力の高いまちをつくる」	7
	①市内における“しごと”をつくる	
	②大学との連携を推進する	
	③地域における“担い手”をつくる	
2	小平市まち・ひと・しごと創生総合戦略 数値目標・KPI 進捗状況一覧	10

1 小平市まち・ひと・しごと創生総合戦略 進捗状況一覧表

施策番号	名称	内容	所管課 (関連課)	進捗状況	平成28年度までの実施等状況
基本目標1「住み続けたいまちの空間をつくる」					
① 農のあるまちづくりの推進					
1	市内農家の収入増に向けた取組の支援	営農意欲ある経営体として認定農業者を拡充し、国や東京都の補助も活用しながら、農業経営基盤の強化を図り、農業収入の増大に向けた支援をしていきます。	産業振興課	実施中	<p>【平成27年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 認定農業者の更新や新規認定の呼びかけを行い、4経営体が認定を受けました。 経営基盤強化の補助を行う、地域農業担い手支援事業を実施し、26経営体が事業を活用して農業経営の促進を図りました。 <p>【平成28年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 認定農業者の更新や新規認定の呼びかけを行い、10経営体が認定を受けました。 経営基盤強化の補助を行う、地域農業担い手支援事業を実施し、27経営体が事業を活用して農業経営の促進を図りました。
2	農にふれあえる場の提供	市民が農にふれあえる場として、体験農園や収穫体験のできる農園の拡充に取り組むとともに、直売所や特産品などの情報の発信を行ってまいります。	産業振興課	実施中	<p>【平成27年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 体験農園の区画数の増加や収穫体験のできる農園、直売所や特産品などを市報やマップで情報発信を行いました。 <p>【平成28年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 体験農園の区画数の増加や収穫体験のできる農園、直売所や特産品などを市報やマップで情報発信を行いました。
3	地産地消の促進	平成28年秋にオープンする東京むさし農業協同組合の直売所のリニューアルの支援を行い、ジャムやワインなど農産加工品や飲食店、学校給食等への地場産農産物の利用の促進など地産地消の拡大を図ります。	産業振興課 (学務課)	実施中	<p>【平成27年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ジャムやワインなど農産加工品のPRや飲食店でのエダマメウィークの開催や、学校給食等への地場産農産物の利用の促進に対し、補助金を交付しました。 <p>【平成28年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 10月にオープンした小平ファーマーズ・マーケットのリニューアルについて、什器の購入に対して、支援を行いました。学校給食等への地場産農産物の利用の促進に対し、補助金を交付しました。
4	市民による農家支援	後継者不足や高齢化に伴う人手不足を解消するため、農業に関心を持つ市民が農家の担い手となった援農ボランティア等の市民活動の支援をします。また、環境学習としてのエコツーリズム等の実施により、援農ボランティアでは対応しきれない農作業を行うことにより農家を支援していきます。	産業振興課	実施中	<p>【平成27年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 市報で援農ボランティアの募集を行い、講座、実技を修了し、援農ボランティアとして認定された者は2人でした。 <p>【平成28年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 市報で援農ボランティアの募集を行い、講座、実技を修了し、援農ボランティアとして認定された者は6人でした。
② ゆったりとした快適なまちづくりの推進					
1	用水路の親水整備	「水が見えて、水に近づき、水で楽しむ」ことができる用水路の整備を行い、人に「やすらぎ」や「うるおい」を与える空間をつくりまします。	水と緑と公園課	実施中	<p>【平成27年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 神明宮南側の親水整備工事を実施しました。 <p>【平成28年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成27年度に引き続き、神明宮南側の親水整備工事及び旧仲町公民館跡地の親水整備工事を実施しました。

施策番号	名称	内容	所管課 (関連課)	進捗状況	平成28年度までの実施等状況
2	小平グリーンロードを活用したイベントの実施	小平グリーンロードを活用したイベント(花まつり、小平グリーンロード灯りまつり、晩秋の小平グリーンロードウォークと収穫祭)を実施します。	産業振興課	実施中	<p>【平成27年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 花まつり、小平グリーンロード灯りまつり、晩秋の小平グリーンロードウォークと収穫祭を実施しました。来場者数はそれぞれ2,000人、43,200人、2,000人でした。 <p>【平成28年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 花まつり、小平グリーンロード灯りまつり、晩秋の小平グリーンロードウォークと収穫祭を実施しました。来場者数はそれぞれ2,000人、47,400人、2,000人でした。
3	食を通じたイベントの実施	ブルーベリーなどの食を通じたイベントの支援や、グルメ店のPRを通じて、食のブランド化に取り組みます。	産業振興課	実施中	<p>【平成27年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 食を通じたイベント7件に対し支援し、延べ来場者数は12,300人でした。 <p>【平成28年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 食を通じたイベント7件に対し支援し、延べ来場者数は16,800人でした。
4	こだいらオープンガーデンの支援	個人の庭を一般に公開し、訪れた人が季節の植物を楽しみ、交流を深め、自然とうるおいのあるまちになることを目指すオープンガーデンについて、その発展に向けて働きかけを行うとともに、周知をしていきます。	産業振興課	実施中	<p>【平成27年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> オープンガーデンオーナーに対してオーナー交流会を実施しました。 オープンガーデンマップの配布に加え、市や小平市グリーンロード推進協議会のホームページにて、周知を行いました。 <p>【平成28年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> オープンガーデンオーナーに対してオーナー交流会を実施しました。 オープンガーデンマップの配布に加え、市や小平市グリーンロード推進協議会のホームページにて、周知を行いました。 こだいら観光まちづくり協会において新しいオープンガーデンマップを作成しました。
③ “住んでみたい”まちづくりと魅力の情報発信					
1	小川駅西口、小平駅北口再開発事業の推進	現在、権利者を中心に検討が進められている小川駅西口地区再開発事業、小平駅北口地区再開発事業を、関係者との合意形成を経て着実に進め、駅周辺の賑わいの創出と魅力の向上を図ります。	地域整備支援課	実施中	<p>【平成27年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 〈小川駅西口地区〉 再開発準備組合に対し活動費の補助を行うとともに、準備組合の活動に対する支援を行いました。また、公共施設導入の検討を含む都市計画資料等の作成を行いました。 〈小平駅北口地区〉 再開発準備組合が設立され、再開発準備組合に対し活動費の補助を行うとともに、事業協力者の導入に向けた支援を行いました。 <p>【平成28年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 〈小川駅西口地区〉 再開発準備組合に対し活動費の補助を行うとともに、準備組合の活動に対する支援を行いました。また関連事業として小川駅東西自由通路整備に向けた検討を行いました。 〈小平駅北口地区〉 再開発準備組合に対し活動費の補助を行うとともに、準備組合の活動に対する支援を行い、事業協力者が決定しました。また、地区内の道路や家屋等の現況や都市計画道路の線形を把握するための測量を行いました。

施策番号	名称	内容	所管課 (関連課)	進捗状況	平成28年度までの実施等状況
2	住みたくなるまちの魅力を発信	設立を目指している「(仮称)小平観光まちづくり連絡会」の支援などを通じて、観光まちづくりに関する情報など、住みたくなるまちの魅力を発信していきます。 また、市民の誰もが参加でき意見交換できる「プチ田舎会議」を開催し、市民の観光まちづくりへの関心を高めると同時に、観光まちづくりを支えるボランティア「観光まちづくりサポーター」を設置し、観光まちづくりへ参加する市民の広がりを促進します。 なお、平成27年度につきましては、人口の転出入の割合が高い西武鉄道の車両におけるラッピングトレインを走らせる取組などを通じ、小平市のPRを行います。	産業振興課	実施中	【平成27年度】 ・ラッピングトレインの実施と合わせ、中吊り広告や市内主要駅構内に小平の魅力を発信するフリーペーパーを配布しました。 【平成28年度】 ・6月に「こだいら観光まちづくり協会」が設立し、観光総合ガイドブックや観光ポータルサイトを作成しました。また、プチ田舎会議を1回実施しました。 ・観光まちづくりサポーターの制度を創設し、2人の登録がありました。
3	文化施策の推進と文化財等のPR	小平市民文化会館、平榊田中彫刻美術館、小平ふるさと村などの運営を通じて市の文化振興に努めます。また、鈴木遺跡の国指定史跡化を推進するなど、地域の文化財や歴史に対する関心を深めることを目指します。 また、平成27年度につきましては、鈴木遺跡の文化財等について広く知っていただくため、市ホームページの充実、文化財マップの作成、最寄駅から鈴木遺跡の文化財等への文化財案内看板等のサインの見直しを行います。	文化スポーツ課	実施中	【平成27年度】 ・前年度に引き続き鈴木遺跡の国指定史跡化推進事業の一環として各種イベント等を開催したほか、鈴木遺跡や市内所在の文化財周知のための案内看板、解説看板の更新および新設、鈴木遺跡と市内所在の文化財に関するウォークマップを作成しました。 【平成28年度】 ・前年度に引き続き鈴木遺跡の国指定史跡化推進事業の一環として各種イベント等を開催したほか、市内所在の文化財周知のため旧小平村役場門柱の歴史的価値や位置づけについて解説する文化財看板を新設しました。
4	いつまでも住み続けられる健康まちづくりの推進	いつまでも健康で住み続けられるまちを目指して、“歩くまち小平”としてのモデルコースの設定など、楽しみながら健康づくりができる取組を推進します。	産業振興課、文化スポーツ課、健康推進課	実施中	【平成27年度】 ・小平駅近くの公園をスタートとし、市内を歩いてもらうウォーキングイベントを開催しました。 【平成28年度】 ・こだいら観光まちづくり協会にて、観光総合ガイドブックや観光ポータルサイトを作成し、それぞれにモデルコースを掲載しました。また、地図をもとに市内の丸ポストを巡る「丸ポストロゲイニング」や学芸員と一緒に鎌倉街道・青梅街道や鈴木遺跡周辺を歩く「まち歩き」を実施しました。
5	若い世代の定住の促進	若い世代の人々が住みたくなるような、住環境の整備に取り組みます。	都市計画課(地域整備支援課、水と緑と公園課)	実施中	【平成27年度】 実績なし 【平成28年度】 ・魅力ある都市づくりに向けて、都市計画マスタープランを策定しました。 ・その実現に向けて、小川駅西口地区及び小平駅北口地区の市街地再開発事業について、にぎわいの創出を図るための安全・安心なまちづくりに配慮した事業計画案を検討しました。 ・鎌倉公園の整備に向けて、計画地とその周辺を取り巻く自然環境や社会状況等の調査を行い、整備実現の可能性について検討しました。

施策番号	名称	内容	所管課 (関連課)	進捗状況	平成28年度までの実施等状況
6	ジュニア世代のスポーツ競技力の向上	子どもの体力向上及びスポーツ競技力向上を図るとともに、指導者の育成を図るため、小中学生を対象に各種スポーツ教室を開催し、スポーツ振興を推進します。	スポーツ振興担当	実施中	<p>【平成27年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 子どもの体力向上及びスポーツ競技力向上を図るため、小・中学生を対象として「トップアスリートによるランニング教室」(講師:東京経済大学陸上部コーチ)を開催しました。 市内のバドミントン部所属の中学生を対象に「ジュニアバドミントン教室」を開催しました。講師に元オリンピック日本代表の米倉加奈子さんをお招きし、指導者育成の視点も含めて効果的な練習方法を指導していただきました。 <p>【平成28年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 子どもの体力向上及びスポーツ競技力向上を図るため、小・中学生を対象として「トップアスリートによるランニング教室」(講師:東京経済大学陸上部コーチ)を開催しました。 小平市内で活動している少年野球チームに所属する小学3年～6年生及び指導者を対象として、講師に元プロ野球選手をお招きし、野球教室を開催しました。
7	通学における児童・生徒の安全確保	子どもたちが安全で安心して学校に通えるよう、通学路の安全点検を行い、危険個所の把握に努めています。また、人の目が行き届きにくい場所や時間帯において見守り活動を補完するため、市内小学校の通学路に防犯カメラを設置します。	学務課	実施中	<p>【平成27年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 小学校5校(小平第五小学校、小平第八小学校、小平第十小学校、学園東小学校、上宿小学校)の通学路に計25台の防犯カメラを設置しました。 <p>【平成28年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 小学校5校(小平第七小学校、小平第十二小学校、小平第十三小学校、花小金井小学校、鈴木小学校)の通学路に計24台の防犯カメラを設置しました。
基本目標2「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」					
① 結婚の希望をかなえる					
1	出会いの創出による交流をつくる	結婚をしない理由の1つとして、「出会い」の機会が少ないという傾向が見受けられ、また、理想の子どもの数をもてない理由としては「年齢や健康上の理由」が要因の1つとなっているものと推察されます。市内の企業などに働きかけを行い、若い世代の方に出会いの場の創出へ参加していただき、市内における交流人口の増加や定住のきっかけづくりを行います。	政策課	実施中	<p>【平成27年度】</p> <p>未着手</p> <p>【平成28年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 出会いの創出事業「ラララ・こだいラ」を実施しました。 計5回実施し、延べ84人が参加しました。
② 妊娠・出産期からの支援体制の充実					
1	子育てに関する総合的な支援体制の整備	妊娠期から子育て期までの様々なニーズを把握し、総合的に情報提供や相談を行うことができる機能((仮称)子育て世代包括支援センター)を整備し、よりきめ細やかな支援を行うことで、子育てに対する不安の軽減を図ります。	健康推進課	未着手	<p>【平成27年度】</p> <p>未着手</p> <p>【平成28年度】</p> <p>未着手</p>

施策番号	名称	内容	所管課 (関連課)	進捗状況	平成28年度までの実施等状況
2	妊婦健康診査の充実	妊婦の健康の保持及び増進を図るため、すべての妊婦が健康診査を受診できるように支援を行い、安心して妊娠・出産できる環境を整えるとともに、妊娠期からの一貫した健康管理を推進します。	健康推進課	実施中	【平成27年度】 ・妊娠届出のあった者に母子健康手帳を交付。必要に応じて面接、電話等による健康相談を実施し、母子の健康管理を行いました。 【平成28年度】 ・妊娠届出のあった者に母子健康手帳を交付。必要に応じて面接、電話等による健康相談を実施し、母子の健康管理を行いました。
3	ハローベビークラス事業の充実	妊娠5～8か月の妊婦及びその家族を対象として、妊娠・出産・育児に関する知識・技術の習得を行います。	健康推進課	実施中	【平成27年度】 ・平日クラス2日間8回 土曜日クラス1日間10回 開催しました。 【平成28年度】 ・平日クラス2日間8回 土曜日クラス1日間10回 開催しました。
4	乳児家庭全戸訪問の充実	生後4か月までの乳児のいるすべての家庭を訪問し、様々な不安や悩みを聞き、子育て支援に関する情報提供などを行うとともに、親子の心身の状況や養育環境などの把握や助言を行い、支援が必要な家庭に対しては、適切なサービス提供につなげます。	健康推進課	実施中	【平成27年度】 ・1,629件(96.5%)の訪問を実施しました。 【平成28年度】 ・1,567件(96.6%)の訪問を実施しました。
5	養育支援訪問の充実	乳児家庭全戸訪問などにより把握した養育支援が特に必要な家庭に対して、その居宅を訪問し、養育に関する指導・助言などを行うことにより、当該家庭の適切な養育の実施を確保します。	家庭支援担当、健康推進課	実施中	【平成27年度】 ・634件の訪問を実施しました。 【平成28年度】 ・304件の訪問を実施しました。
③ 子育て支援サービス・保育環境の充実					
1	保育環境の充実	待機児童対策として、計画的に私立認可保育園等の誘致・整備を行い、定員拡大に取り組むとともに、認証保育所、家庭的保育事業など、多様な手法により、保育環境の充実を図ります。	保育課	実施中	【平成27年度】 ・4園の私立認可保育園を開設するなど、定員を127人拡大しました。 【平成28年度】 ・4園の私立認可保育園を開設するなど、定員を193人拡大しました。
2	子育てふれあい広場事業の充実	地域における子育て支援の拠点として、地域センターなどの身近な場所で、子育てについての不安や悩みの相談、同じ不安等を持つ保護者の交流を通して、乳幼児の健全な育成を図ります。 また、平成27年度につきましては、公立保育園における玩具、書籍等の購入、新築した小川西保育園の地域交流室における備品の購入などを行い、地域における子育て支援の拠点としての環境の充実を図ります。	子育て支援課 (保育課)	実施中	【平成27年度】 ・子育てふれあい広場利用者数(保育園含む)は、以下のとおりでした。 相談件数 1,354件(保育園含む) ・市内保育園10園において、各種玩具等の購入や園庭遊具の修繕などの整備を実施し、子育てふれあい事業の充実を図りました。 【平成28年度】 ・子育てふれあい広場利用者数(保育園含む)は、以下のとおりでした。 相談件数 1,368件(保育園含む)

施策番号	名称	内容	所管課 (関連課)	進捗状況	平成28年度までの実施等状況
3	一時預かり事業の充実	幼稚園における在園児の預かり保育や、緊急・一時的に保育が必要な子どもの保育園での預かり保育などを行います。	保育課	実施中	【平成27年度】 ・認定こども園及び幼稚園の全15園で一時預かり保育を実施するとともに、保育園での一時預かりを2施設増設を図り、9か所としました。 ・市立保育園全10園において緊急一時保育を実施しました。 【平成28年度】 ・認定こども園及び幼稚園の全15園で一時預かり保育を実施するとともに、保育園での一時預かりを1施設増設を図り、10か所としました。 ・市立保育園全9園において緊急一時保育を実施しました。
4	学童クラブ事業の充実	就労などの理由により、保護者が昼間いない小学生に対し、放課後に適切な遊び及び生活の場を与え、児童の健全な育成を図ります。	子育て支援課	実施中	【平成27年度】 ・新設クラブ2クラブの開設準備を行いました。 【平成28年度】 ・十一小学学童クラブ第二(定員30人)及び十五小学学童クラブ第二(定員30人)を新規開設しました。新設2クラブの開設準備を行いました。
5	児童館運営事業の充実	健全な遊びを通じて、児童の健やかな成長及び豊かな情操を養い、児童の健全な育成を図ります。 また、平成27年度につきましては、花小金井南児童館及び小川町二丁目児童館に、児童に人気の高いクライミング・ウォールを設置し、子どもが安心して楽しく遊べる場の充実を図ります。	子育て支援課	実施中	【平成27年度】 ・花小金井南児童館及び小川町二丁目児童館に、クライミング・ウォールを設置しました。 ・児童館利用者 117,102人 【平成28年度】 ・児童館利用者 129,999人
④ 子育てにおける多様な支援の充実					
1	子育てに関する情報発信の推進	現在、市が発行している「子育てガイド」に加え、市民活動団体などが発信している子育てに関する情報について、インターネットを介して一元化して情報を提供する仕組みを構築します。	政策課 (子育て支援課、家庭支援担当、保育課、健康推進課)	実施中	【平成27年度】 ・「子育てガイド」を発行しました。 【平成28年度】 ・「子育てガイド」を発行しました。 ・子育て応援サイト「こだち」を構築し、公開しました。 初年度目標アクセス件数1万件に到達しました。
2	地域における子育て活動への支援	市内のNPOやボランティア団体などが行う、子育てに関する優れた取組を支援します。	市民協働・男女参画推進課 (各課)	実施中	【平成27年度】 ・市民活動支援公募事業として「映画「うまれる」上映会&講演会事業」「思春期対応へのサポート」発達支援シンポジウム事業」に補助金を交付し、事業を実施いたしました。 【平成28年度】 ・市民活動支援公募事業として「こいだら子ども子育てフェスティバル「ここフェス！」事業」「哲学ドラマワークショップ事業」等に補助金を交付し、事業を実施しました。 ・いきいき協働提案事業にて、子育て支援課と協働で「地域・家族の育児参加推進&子育てしやすい街づくり事業」を実施し、産前産後の女性の心身の変化、産後うつ等の現状、心身のサポートの大切さを啓発し、夫婦のパートナーシップや孫育てなど、産後の女性を支えるための知識を学ぶ講座を開催いたしました。
3	ファミリー・サポート・センター事業の推進	市内居住の、生後57日から小学6年生までの子どもの保護者で育児の援助を受けたい人(利用会員)と、育児の援助を行いたい人(提供会員)を結び、地域の子育てを支援します。	家庭支援担当	実施中	【平成27年度】 ・延べ利用件数 4,691件 【平成28年度】 ・延べ利用件数 6,215件

施策番号	名称	内容	所管課 (関連課)	進捗状況	平成28年度までの実施等状況
基本目標3「地域力・民活力の高いまちをつくる」					
① 市内における“しごと”をつくる					
1	創業に対する支援	小平市は、産業競争力強化法に基づく「創業支援計画」を策定し、平成26年10月に国の認定を受けました。金融機関のノウハウも活用し、個別相談、創業セミナー、創業塾の開催など女性のニーズも高まっている創業のための支援を拡充します。	産業振興課	実施中	<p>【平成27年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・創業資金融資あっせん制度を実施し、延べ10人が利用しました。 ・チャレンジジョブ事業を実施し、延べ2人が利用しました。 <p>【平成28年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・創業資金融資あっせん制度を実施し、延べ11人が利用しました。 ・チャレンジジョブ事業を実施し、延べ5人が利用しました。 ・創業個別相談窓口を開催し、延べ8人が参加しました。 ・創業セミナーを計2回開催し、延べ19人が参加しました。 ・創業塾を5日間開催し、延べ45人が参加しました。
2	商店会の賑わいや中小企業等が取り組む商品開発等に対する支援	商店会に新規出店する際の支援や、意欲ある中小企業等が取り組む商品開発の支援を拡充することで、商店会の賑わいや中小企業の振興を図ります。	産業振興課	実施中	<p>【平成27年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・創業・事業資金融資あっせん制度、店舗改修等補助事業及びチャレンジ企業応援事業により支援を実施しました。 <p>【平成28年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・創業・事業資金融資あっせん制度、店舗改修等補助事業及びチャレンジ企業応援事業により支援を実施しました。
3	コミュニティビジネスの支援	高齢化の進展などに伴う地域の課題の解決のため、今後もコミュニティビジネス(CB)の重要性が高まることが予想されます。①-1の創業に対する支援に加え、小さくても地域に合った自立的な取組をする事業の積み上げを図ります。	産業振興課	実施中	<p>【平成27年度】</p> <p>未着手</p> <p>【平成28年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こだいらコワーキングスペース「すだち」を開設し、コミュニティビジネスを含めた起業についての講座を計10回開催し、延べ37人が参加しました。
4	子育て中の女性の就労促進	地域社会における女性の活躍に向けた取組として、子育て中の女性の就労を支援します。在宅ワークの支援を通じて地域における“しごと”をつくるとともに、地域における推進役としての人材の育成も目指します。	産業振興課	実施中	<p>【平成27年度】</p> <p>未着手</p> <p>【平成28年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こだいらコワーキングスペース「すだち」を開設し、ビジネススキル研修、就労プロデューサー育成研修及びテレワークコーディネーター育成研修を計37回開催し、延べ205人が参加しました。
5	市の産業振興の基礎となる基本計画の策定	市内の農業、商業、工業、観光の連携強化を図るため「(仮称)産業振興基本計画」を策定します。なお、策定に当たっては金融機関や大学などとの連携を目指します。	産業振興課	実施中	<p>【平成27年度】</p> <p>未着手</p> <p>【平成28年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「産業振興基本計画」及び「農業振興計画」の策定にあたり、多摩信用金庫と連携のための協定を結びました。また多摩信用金庫、首都大学東京及び小平市が連携して検討委員会の開催及び基礎調査を実施しました。

施策番号	名称	内容	所管課 (関連課)	進捗状況	平成28年度までの実施等状況
6	ワーク・ライフ・バランスの啓発	仕事と生活の調和を目指し、子育てをしながら働く人を理解し、誰もが働きやすく、支え合える職場環境の形成が促進されるよう啓発に努めます。	市民協働・男女参画推進課	実施中	<p>【平成27年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画の啓発広報誌「ひらく」を発行(8,000部)しました。 女と男のフォーラムを開催し、112人(保育3人)が参加しました。 男女共同参画推進講座「就労支援」として男女共同参画センター利用登録団体と共催でワールドカフェ(2回)を開催し、延べ46人(保育4人)が参加しました。 <p>【平成28年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画啓発の広報誌「ひらく」を発行(8,000部)しました。 女と男のフォーラムを開催し、177人(保育8人)が参加しました。 男女共同参画推進講座「就労支援」として男女共同参画センター利用登録団体と共催でワールドカフェ(2回)を開催し、延べ46人(保育12人)が参加しました。 小平アクティブプラン21(第三次小平市男女共同参画推進計画)の策定のための懇談会と同時に男女共同参画推進講演会を3回開催し、延べ44人(保育3人)が参加しました。
② 大学との連携を推進する					
1	大学等との連携の推進	市内には大学が多く存在することから、これまでも大学連携事業～こいだいらブルーベリーリーグ～などを通じて様々な連携を行ってきましたが、今後も、「(仮称)産業振興基本計画」の策定、文化プログラムの実施、地域づくりの推進など、より一層連携した取組を進めていきます。	市民協働・男女参画推進課 (産業振興課、文化スポーツ課)	実施中	<p>【平成27年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> こいだいらブルーベリーリーグにおいて連絡調整会を3回開催し、大学との連携のあり方について協議を行ったほか、大学生と地域との交流イベント「まちで楽しむ」開催しました。 市内の大学と協働で模擬投票授業を開催する等、各課で大学と連携した取組をそれぞれ行いました。 <p>【平成28年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> こいだいらブルーベリーリーグにおいて連絡調整会を3回開催し、大学との連携のあり方について協議を行ったほか、大学生と地域との交流イベント「まちで楽しむ」開催しました。 地元企業のウィンドウディスプレイを、市内の大学が、小平市の観光テーマである「プチ田舎」をコンセプトとして展示を行う等、各課で大学と連携した取組をそれぞれ行いました。 こいだいらブルーベリーリーグ以外の大学とも「産業振興基本計画」及び「農業振興計画」の策定にあたり、首都大学東京と連携し、検討委員会の開催及び基礎調査を実施したほか、鈴木遺跡国指定史跡化推進化事業として、東京学芸大学と共同研究を行っています。
③ 地域における“担い手”をつくる					
1	小平市市民活動支援公募事業	市民活動団体、NPO、自治会等が自ら企画実施する公益的な事業を公募し、その事業経費の一部を市が補助することで、市と市民の協働の基盤づくりを推進します。	市民協働・男女参画推進課	実施中	<p>【平成27年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「英語多読を体験しよう！ Tadoku and Beyond！ 事業」ほか、地域活性化を図る事業や福祉系の事業、子育てに関する事業や、イベント的的事业等、計10事業に補助金を交付し、事業を実施いたしました。 <p>【平成28年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「子ども向け美術ワークショップの企画運営事業」ほか、子育てイベント、子ども向けワークショップ、観察会、健康講座、スポーツイベント等、計9事業に補助金を交付し、事業を実施いたしました。
2	小平市いきいき協働事業	市民活動団体やNPO等からの協働による事業の提案を募集し、市民の視点から新しい事業の展開など地域の課題の解決などを推進します。	市民協働・男女参画推進課	実施中	<p>【平成27年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「小平市民の省エネ・創エネによる仮想メガソーラー事業」(環境政策課)、「協働のまちづくりに関する講演会とディスカッション事業」(市民協働・男女参画推進課)をそれぞれ協働にて実施いたしました。 <p>【平成28年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「地域・家族の育児参加推進&子育てしやすい街づくり事業」(子育て支援課)、「電力自由化をきっかけに市民・家庭が主役のエネルギーシフトをすすめる事業」(環境政策課)をそれぞれ協働にて実施いたしました。

施策番号	名称	内容	所管課 (関連課)	進捗状況	平成28年度までの実施等状況
3	災害時に強い市民の育成	自助・共助の能力を高めるため、自主防災組織の増加を目指します。 また、災害時に迅速かつ円滑な対応が行えるよう、避難所(小・中学校等)ごとに、避難所管理運営マニュアルを作成できるよう支援します。	防災危機管理課	実施中	【平成27年度】 ・自主防災組織・・・新たに3組織が結成され、合計60組織になりました。 ・避難所管理運営マニュアル・・・新たに3地区で作成され、合計4地区になりました。 【平成28年度】 ・自主防災組織・・・新たに3組織が結成され、合計63組織になりました。 ・避難所管理運営マニュアル・・・新たに1地区で作成され、合計5地区になりました。
4	公園等管理におけるアダプト制度の導入	公園等の清掃、ベンチや遊具の塗装、低木の剪定、花壇設計など、市民が自主管理に取り組むアダプト制度を導入します。	水と緑と公園課	実施中	【平成27年度】 ・平成28年度からの導入に向け、準備しました。 【平成28年度】 ・中央公園とたけのこ公園でアダプト制度を導入しました。
5	介護予防見守りボランティアコーディネーターの配置	高齢化に伴って一人暮らしの高齢者などが増加することが予想されることから、各地域包括支援センターに介護予防見守りボランティアコーディネーターを配置し、地域住民による見守り体制を構築します。	地域包括ケア推進担当	実施中	【平成27年度】 ・地域包括支援センター中央センターのコーディネーターのみで実施しました。 登録研修2回実施。年度末登録者数259人。 【平成28年度】 ・新たに4つの各地域包括支援センターにコーディネーターを配置(4人)しました。 登録研修2回実施。年度末登録者数288人。
6	スポーツボランティアの育成	2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会を見据えて、スポーツ振興の担い手となるスポーツボランティアの育成を図ります。	スポーツ振興担当	実施中	【平成27年度】 ・東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を契機に、これまで実施してきた市のスポーツボランティアを対象とした研修会の充実を図るとともに、新たにスポーツボランティアを発掘するための講演会を開催しました。 【平成28年度】 ・東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を見据え、障がい者スポーツを含めたスポーツを支える人材を発掘・育成するために、日本スポーツボランティアネットワークと連携した研修会や講演会を開催するとともに、スポーツボランティアが活躍できる場を拡大しました。
7	地域による教育支援の推進	学校の運営や教育活動を支援する学校支援ボランティア等の養成を行います。また、地域の力により様々な体験活動や世代間交流の機会を提供する放課後子ども教室の推進、地域の特徴を生かして青少年のための活動を行う青少年対策地区委員会の活動への支援を図ります。	地域学習支援課	実施中	【平成27年度】 ・学校支援ボランティア及びコーディネーターの養成講座・研修を計108回実施し、延べ2,458人が参加しました。 ・放課後子ども教室を小学校19校にて実施し、放課後学習教室を中学校4校にて実施しました。 ・青少年対策地区委員会代表者協議会を計3回、研修を1回実施するとともに補助金4,012,000円を交付しました。 【平成28年度】 ・学校支援ボランティア及びコーディネーターの養成講座・研修を計102回実施し、延べ2,639人が参加しました。 ・放課後子ども教室を小学校19校にて実施し、放課後学習教室を中学校5校にて実施しました。 ・青少年対策地区委員会代表者協議会を計3回、研修を1回実施するとともに補助金4,011,000円を交付しました。

2 小平市まち・ひと・しごと創生総合戦略 数値目標・KPI進捗状況

指標	平成26年度末 (※1)	平成27年度末	平成28年度末	平成31年度末 (目標)	所管課
基本目標1「住み続けたいまちの空間をつくる」					
「定住意向のある人」の割合	80.9%	-	84.2%	83.0%	(世論調査)
人口の社会増減(転入数-転出数)	+460人	+1,170人	+1,360人	+600人	
「緑の豊かさ」の満足度	82.5%	-	83.9%	85.0%	(世論調査)
① 農のあるまちづくりの推進					
新規就農者数	4人	5人	8人	6人	産業振興課
「小平産の農産物を購入している」人の割合	40.7%	-	35.4%	45.0%	(世論調査)
市内体験農園の区画数	270区画	277区画	319区画	300区画	産業振興課
援農ボランティア講座修了者数	208人	210人	216人	230人	産業振興課
② ゆったりとした快適なまちづくりの推進					
住み続けたい理由として「自然環境がよい」を挙げる人の割合	58.1%	-	60.1%	61.0%	(世論調査)
小平グリーンロード等のイベント来場者数	62,600人	59,360人	67,860人	66,000人	産業振興課
③ “住んでみたい”まちづくりと魅力の情報発信					
市内の駅の日平均乗降客数	187,066人 (平成25年度)	185,872人 (平成26年度)	189,803人 (平成27年度)	190,000人	
「(仮称)小平観光まちづくり連絡会」会員数	0人	0人	67人	100人	産業振興課
観光ガイドブック等の配布部数(※2)	5,000部	-	7,040部	10,000部	産業振興課
基本目標2「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」					
地域における子育ての環境や支援への満足度	63.5%	-	-	65.0%	
合計特殊出生率	1.40	1.46	-	1.45	
① 結婚の希望をかなえる					
出会いの創出による交流数	0件	0件	84件	150件	政策課
② 妊娠・出産期からの支援体制の充実					
(仮称)子育て世代包括支援センターの設置数	0箇所	0箇所	0箇所	1箇所	健康推進課

指標	平成26年度末 (※1)	平成27年度末	平成28年度末	平成31年度末 (目標)	所管課
③ 子育て支援サービス・保育環境の充実					
市内保育施設等における保育定員	6,697人	6,824人	7,017人	7,247人	保育課
子育てふれあい広場の利用者数	10,517人	10,491人	11,574人	12,100人	子育て支援課
学童クラブの定員数	1,220人	1,220人	1,280人	1,420人	子育て支援課
児童館の利用者数	109,367人	117,102人	129,999人	115,000人	子育て支援課
④ 子育てにおける多様な支援の充実					
子育て情報発信サイトのアクセス数	0件	0件	17,420件	150,000件	政策課
ファミリー・サポート・センターの提供会員登録数	409人	432人	445人	535人	家庭支援担当
基本目標3 「地域力・民活力の高いまちをつくる」					
(3)③-4~6の事業におけるボランティア数等	244人	399人	442人	415人	
③-4 公園等管理におけるアダプト制度	0人	0人	30人	100人	水と緑と公園課
③-5 介護予防見守りボランティア	203人	259人	288人	225人	地域包括ケア推進担当
③-6 スポーツボランティア	41人	140人	124人	90人	スポーツ振興担当
市民活動支援センターの登録団体数	115団体	120団体	115団体	135団体	市民協働
在宅ワークによる新規就労(内定含む)者数	0人	0人	10人	50人	産業振興課
① 市内における“しごと”をつくる					
認定創業支援事業による支援を受けた件数	74件	93件	146件	156件	産業振興課
市内の創業比率	1.78%	1.78%	7.83%	2.00%	産業振興課
就労支援のための講習会参加者数	0人	0人	92人	100人	産業振興課
② 大学との連携を推進する					
大学と連携した事業の数	30件	35件	43件	35件	市民協働・男女参画推進課
③ 地域における“担い手”をつくる					
自主防災組織の組織数	57組織	60組織	63組織	66組織	防災危機管理課
介護予防見守りボランティアの登録者数	203人	259人	288人	225人	地域包括ケア推進担当

(※1)市総合戦略において「現状」として記載している数値であり、項目によっては必ずしも平成26年度末の数値ではありません。

(※2)平成26年度末(現状値)は概数であり、31年度末(目標値)は小平市観光まちづくり協会における取組の成果を想定しています。

【留意事項】

・複合的な取組の結果として表れる指標については担当課を空欄としている場合があります。

小平市まち・ひと・しごと創生総合戦略
(平成27年度～31年度)

平成28年度 進捗状況

平成29年9月発行

編集・発行 小平市企画政策部政策課

〒187-8701

東京都小平市小川町二丁目1333番地

電話番号 042(346)9503

電子メール seisaku@city.kodaira.lg.jp

価格 ￥60